

# 久保忠一後援会ニュース

活動報告秋号 2012年11月16日発行

発行者 鴨川市議会議員

久保忠一 (くぼただかず)

住所 東条地区広場1709番地 1960年3月9日 生所属団体・役職  
エビハラ病院(薬剤師・ケアマネ)、NPO法人床ずれ研究会(代表)、日本褥瘡  
学会(千葉県支部実行委員)、認定NPO法人生活情報推進ネットワーク(副  
代表)など

## 連絡先

090-7402-3941

FAX: 04-7093-6030

E-mail: qqbm5s5w9

@able.ocn.ne.jp

携帯メール

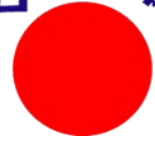
topple.nozomi@docomo.ne.jp

住所: 東条地区

広場1709番地



がんばろう  
日本



ごあいさつ

秋の深まりを感じるこの頃ですが、益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

本日国会が解散し、新しい転換点を迎えますが、どれほど多くの方が将来に希望を感じているでしょうか。

今後は、アジアの平和と安全の趣旨を理解し、確固とした安全保障体制を強化していくとともに、集団的自衛権の解釈変更及び自主憲法の制定をすべきかの議論に全力を尽くし、民間も利潤追求ではなく、誇るべき日本の技術の革新と健全な基礎教育の実践、及びそのように導く政府が相まって日本を甦らせるかと確信します。

ところで、どこが政権を取ろう

が、日本が福祉国家であることに変わりません。今の制度は概

ね高度成長の時代に決められましたが、今日日本は根本的問題から考え直さなければならぬと思います。例えば医療保険や公的年金、介護保険の支払が無ければ、手取り給与は平均でも

1.3倍以上になります。国民皆保険制度の日本が正しいのか、医療は自己責任の原理で行う、と考える米国が良いのか、一概には言えませんが。

福祉の充実はもちろん大事ですが、コスト意識を持ち、依存しないで生きる社会、自助、共助、公助のバランスが重要と考えます。

一方、保育などに対する負担を見ると、この方面には福祉が希薄であると感じないでしょうか。

世の中に不公平なことは道路の整備などをはじめ沢山あります。その背後に何かがあるかは見えませんが、あらゆる分野にある政官財のトライアングル。この切り崩しに自民党では無理だったし、民主党も政権を取る前はクリーンと言われたが、それは野党だから人が寄って来なかっただけ。政権を取ったら色んな意味で期待外れ。

この政治の現実を知り、世の中を変える人は、①人の為に一生懸命になれる者、②自分で正しい見立てと価値判断ができる者、と思います  
自分も少しでも理想に近づけるよう頑張ります。